



# スマイル! TOGO

自分らしく生きる力を身につけ、  
なかまとたくましく歩む子

福井市東郷小学校 学校だより  
令和5年12月7、8日 第23号  
TEL 41-0003 FAX 41-0974  
Mail togo-e@fukui-city.ed.jp

## 12/7(木)、8(金)保護者会「ミニ通知表」「東郷小メディアリテラシー」を説明資料に

本年度東郷小スクールプランでは、「全教科・領域を繋いで力をつける教育活動の展開と説明」を具体的な取組として挙げています。そして、保護者会は、その「説明」の責任を果たす機会ととらえています。昨年度よりお配りしている「ミニ通知表」(1年生は今回より)は、国語と算数の到達度について、テストの結果をもとに示されたものです。

例えば4年生の国語では「ごんぎつね」という単元ごとの様子に加え、「秋に習う漢字」「言葉」などの分野でどうだったか分かるようになっていました。算数でも「小数」「2けたで割る割り算の筆算」「割合」などの各分野でどのような様子だったのか分かるようになっていました。お子様の成長の一視点としてご覧ください。4月のお子様とはどれ位成長されたかが大事ですね。

更に東郷小学校では、今年度より「東郷小メディアリテラシー」を明示しました。

「メディアリテラシー」とは (日本大学 中橋雄教授 文部科学省 GIGA スクール構想会議資料より) メディアの意味と特性を理解した上で、受け手として情報を読み解き、送り手として情報を表現・発信すると共に、メディアのあり方を考え行動することができる能力

上記の①～③の力について「6年間で身につけたい力」として簡潔に表にまとめました。

東郷小メディアリテラシー		〈6年間で身につけたい力〉	
		年 組 名前 ( )	
段階	1	2	3
操作する力	指やタッチペンでタブレットの操作をする。	ローマ字入力練習アプリなどを使って、文字入力の練習をする。	Word や PowerPoint、Key Note などを使って、文字や画像を組み合わせた資料を作る。
	文字パレットを使って、文字を入力する。	Word などを使って、ローマ字入力で文章を打ち、作成したファイルに名前を付けて保存をする。	
	タブレットのカメラ機能を使って写真を撮る。	タブレットで写真を加工する。	必要に応じて地図アプリを活用する。
	アプリを使って学習活動に生かす。	1つのキーワードで検索し、必要な情報を探す。	複数のキーワードを組み合わせて、必要な情報を探す。
	クラスルームを通してインターネットの情報を得る。		簡単なプログラミングを設計する。
主な使用アプリ			
モラル(自己評価)	人とかかわりの中で情報の在り方に気づく	情報を扱うときのルールや決まりを知る	情報の中には、守らなければならない権利があることを知る
	①人を傷つける情報は、つくったり伝えたりしてはいけないことを知る。	①情報の中には正しくないものがあることを知る。	①SNSで交流する際のマナーやルールを知る。
	②タブレットなどを使う時には約束を守ることを知る。	②インターネット上には有害な情報があることを知る。	②個人情報をおやみに公開しないことの大切さを知る。
		③めあてをもってインターネットを利用することが大切であることを知る。	③他の人が作成したものには、著作権があり、無断で使ってはいけないことを知る。
	④情報を扱うときには守らなければならない決まりやルールがあることを知る。		④インターネット上には悪意のある人がいることを知る。
		⑤情報を発信した先には、人がいることを知る。	

「児童が主体的に取り組むために」「教職員が先の見通しをもって支援するために」、つけたい力が明確になっていることは大変意義があることだと、実践して感じます。

保護者会では、お子様についてご説明いたします。しかし、この評価項目はこれで完成ではなく柔軟に変わっていくものです。東郷小では今後も目の前の子どもたちや学校教育内容に即した「つけたい力」について精査し、更新していきます。